

平成 30 年度
学校関係者評価 報告書

平成 31 年 3 月 26 日実施
学校法人 エイシンカレッジ
日本ビジネス公務員専門学校

平成 31 年 3 月 26 日

平成 30 年度 学校関係者評価報告書

学校法人 エイシンカレッジ
日本ビジネス公務員専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人 エイシンカレッジ 日本ビジネス公務員専門学校 学校関係者評価委員会は平成 30 年度自己点検・自己評価報告書の結果に基づいて学校関係者評価を実施しましたので以下のとおり報告致します。

1. 基本方針

本学における学校関係者評価は学校自己評価（項目別の自己評価表）を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

また、公表については「日本ビジネス公務員専門学校 学校評価実施規定」に則するものとする。

2. 出席者一覧表

名前	役職	所属（企業・団体名）
＜学校関係者評価委員＞		
細貝 伸行	支店長	(株)エイエイピー 新潟支店
田代 克郎	常務取締役	アートビジネスサプライ 株式会社
＜事務局＞		
保坂 芳央	副校長	日本ビジネス公務員専門学校
桜井 久史	副校長補佐	日本ビジネス公務員専門学校
安達 徳義	学科長（医療）	日本ビジネス公務員専門学校
岩根 英二	学科長（公務員）	日本ビジネス公務員専門学校
横山 孝	学科長（ビジネス）	日本ビジネス公務員専門学校
＜進行＞		
小林 幹直	事務局長	日本ビジネス公務員専門学校

欠席者

名前	役職	所属（企業・団体名）
<事務局>		
森 久	学校長	日本ビジネス公務員専門学校

3. 委員会次第（概要）

- ・開催日時 平成 31 年 3 月 26 日（火） 9:30 ～ 11:10
- ・実施場所 日本ビジネス公務員専門学校 503 教室

（1）学校長挨拶

（2）自己評価に関する改善討議

- ①教育理念・目標 ②学校運営 ③教育活動 ④学修成果
- ⑤学生支援 ⑥教育環境 ⑦学生の受入れ募集 ⑧財務
- ⑨法令等の遵守 ⑩社会貢献・地域貢献

（以上の評価項目に関するご意見・ご提言を頂いた）

（3）施設視察

4. 学校関係者評価委員による評価・指摘事項

① 教育理念・目標

- ・アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーに対する姿勢が理解できた。学校・学生・保護者で共有して欲しい。
- ・実習先や卒業生から積極的に業界の情報を収集し、学生へ提供して欲しい。

② 学校運営

- ・健全な学校運営ができていると判断する。
- ・SNS（動画投稿）による問題が社会化している。規定の見直しを実施されており評価できる。教職員館で学生に対する指導も再度確認して欲しい。
- ・高等教育機関に対し、ますます情報の透明性が求められている。厳格かつ適正な公表を期待したい。

③ 教育活動

- ・成績評価、進級・卒業判定の基準がより具体化されている。
- ・人材確保にあたり積極的な採用活動をおこなっている。採用活動と並行してして退職者が出さない職場環境作りも励行して欲しい。
- ・キャリアの浅い教員が多いということなので、教員としての資質が定着・向上し

ていける研修を計画して欲しい。

(OJT、デュアルシステム、指導教員制度などを具体化していく。)

④ 学修成果

- ・退学者の低減を図るためケア体制を強化したらどうか。(専門カウンセラーの活用など)
- ・学生のメンタル不調は、学校ができる範囲に限りがあるとお聞きした。今後は保護者や地域と連携した施策も必要になってくるので検討して欲しい。

⑤ 学生支援

- ・「高等教育の教育費負担軽減制度」の確認申請に関する進捗状況が理解できた。意欲ある子供たちに学習の機会を与えられるよう機関要件を満たして欲しい。社会に優秀な人材を輩出できるよう努めて欲しい。
- ・学生本人や保護者、業界、高校など多様な方面と接点を持ち、必要となる支援体制を研究して頂きたい。

⑥ 教育環境

- ・施設見学(点検)で、学校運営に必要な設備が確認できた。教員の働く職場環境が整備されている。
- ・今後も施設設備に関する最新動向に注視してほしい。

⑦ 学生の受入れ募集

- ・学生募集活動は適切におこなわれている。指摘事項なし
- ・学納金額は適正と判断できる。金額以上の価値提供を期待したい。
- ・学納金の未納者対応や、納入に関する相談窓口が整備されている。
- ・入学生や卒業生に対し実施しているアンケート調査(ニーズ調査)は評価できる。

⑧ 財務

- ・公認会計士による会計監査がなされており運営の透明性が確保できている。
- ・財務状況の情報を公開しており評価できる。今後も社会の要請に応えた財務、経営情報の開示に努めて欲しい。

⑨ 法令等の遵守

- ・適正である。パンフレット作成時にコンプライアンスに関するチェック項目を設定している点も評価できる。

⑩ 社会貢献・地域貢献

- ・昨今、企業ではコミュニティから外れる人間が多い。キャリア教育を通して社会の一員としての人格形成に努めて欲しい。
- ・ボランティアは社会と接点を持てる良い機会である。上手く利用して仕事のやりがいや、自己肯定感を育めるよう工夫して頂きたい。

～学校関係者評価の総括～

学校の自己評価を基に平成 30 年度の活動内容を検証したが、学校の理念や目標に沿った教育活動がなされており概ね適正であると評価する。

また、アドミッションポリシーやシラバスの見直しなど運営マネジメントの改善に関する報告あり次年度以降も期待できる内容であった。

一方で学生の退学低減、若手教員の人材育成に関する点は学校全体で課題に取り組み発展につなげる努力の必要を感じた。

本評価委員会も引き続き学校の発展に寄与できるよう働きかけていきたい。